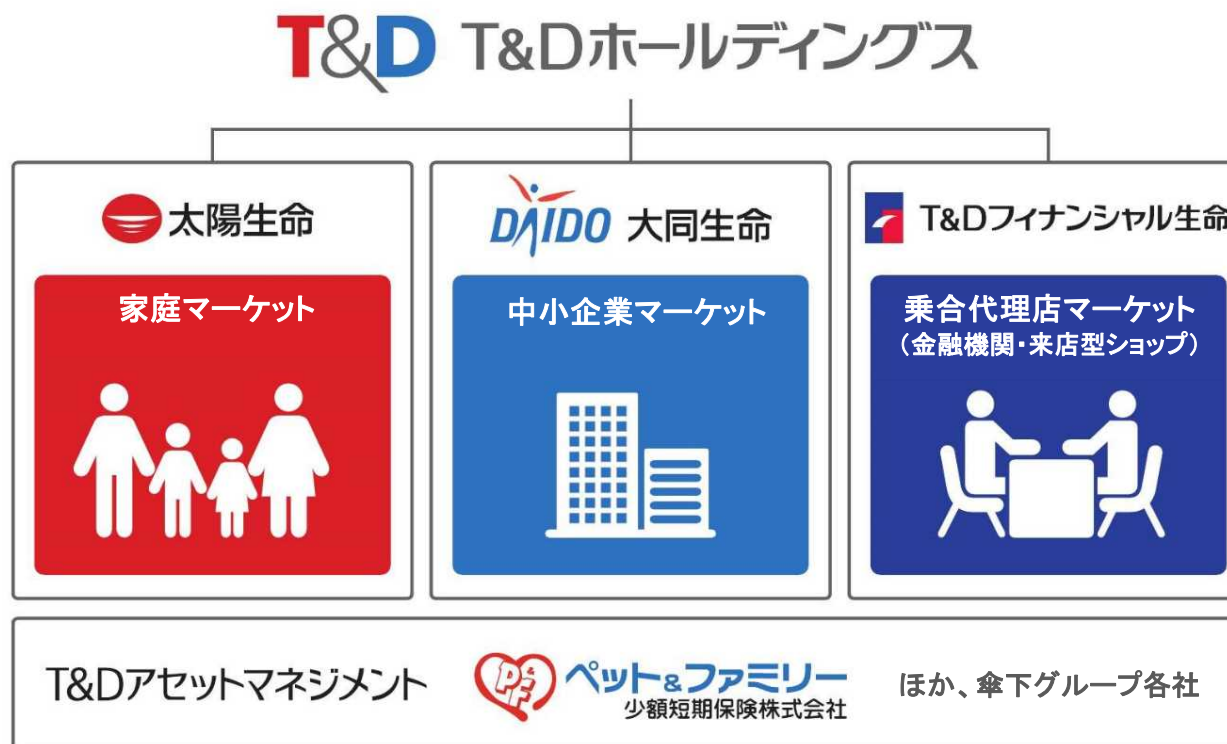


T&D

T&D保険グループ
平成31年3月期第1四半期決算のお知らせ

平成30年8月9日

株式会社T&Dホールディングス



T&D保険グループのT&Dホールディングス傘下には、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の生保3社のほか、資産運用関連事業を担うT&Dアセットマネジメントやペット保険を取扱うペット&ファミリー少額短期保険等のグループ会社があります。

<本資料における計数の定義>

連結	: T&Dホールディングス(連結)
中核生保3社	: 太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命
3社合算	: 中核生保3社の単純合算

T&D保険グループ決算の概況

1. 契約業績

- ・新契約年換算保険料は、個人定期保険や介護保障商品の販売増加により前年同期から増加。第三分野の新契約年換算保険料は、太陽生命の認知症治療保険が堅調に推移したことに加え、大同生命の就業不能保障商品・介護保障商品等の販売好調により、前年同期から大幅に伸展。
- ・保有契約高は、大同生命の「Jタイプ」の重大疾病保険金額・「Tタイプ」の就業障がい保険金額・「介護リリース」と「介護定期保険」の介護保険金額を計上した場合の3社合算ベースで前期末から増加。

2. グループ連結損益

- ・経常収益は、保険料等収入や利息及び配当金等収入が増加したこと等により前年同期から増加。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、太陽生命・大同生命の販売増加に伴う責任準備金積み増し負担の増加やヘッジコスト上昇等による金融派生商品費用の増加等により前年同期並み。概ね通期業績予想に沿った進捗。

3. EV(エンベディッド・バリュー)

- ・新契約価値は、新契約業績が好調に推移したこと等により前年同期から増加。
- ・Group MCEVは、新契約価値の積み上げ等により前期末から増加。

4. 通期業績予想

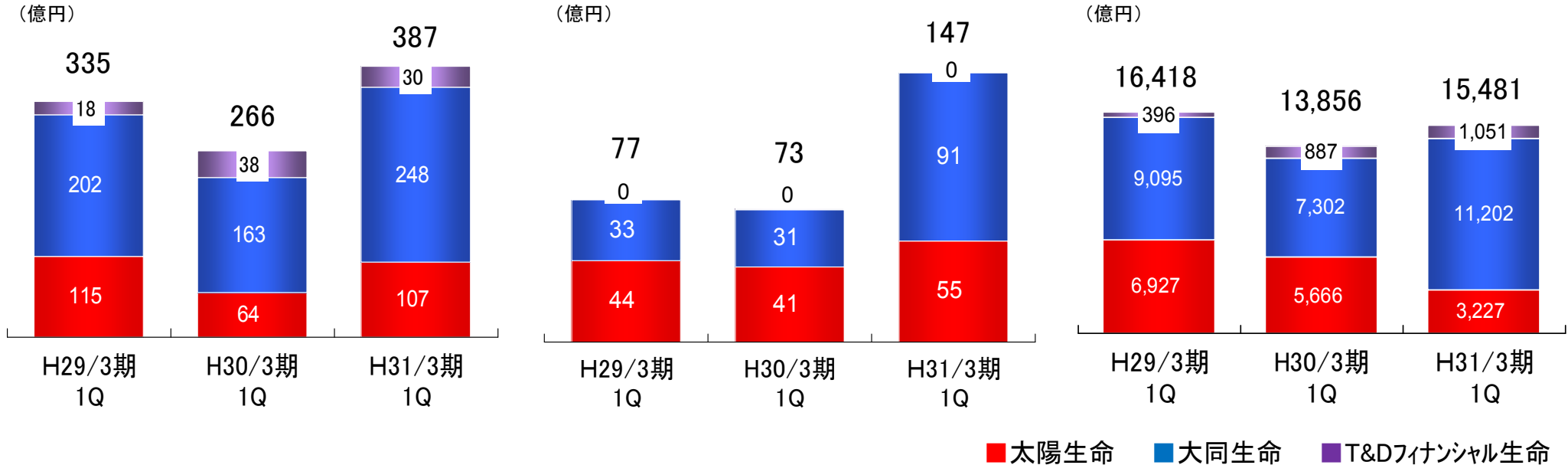
- ・通期業績予想の修正はありません。

新契約の状況：個人保険・個人年金保険

新契約年換算保険料

第三分野新契約年換算保険料

新契約高



(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H31/3期 1Q	前年同期比	H31/3期 1Q	前年同期比	H31/3期 1Q	前年同期比	H31/3期 1Q	前年同期比
新契約年換算保険料	387	+120 (+45.4%)	107	+42 (+65.4%)	248	+85 (+52.3%)	30	△ 7 (△ 18.5%)
うち 第三分野	147	+74 (+101.5%)	55	+14 (+34.0%)	91	+59 (+192.0%)	0	+0 (+27.4%)
新契約高	15,481	+1,625 (+11.7%)	3,227	△ 2,438 (△ 43.0%)	11,202	+3,899 (+53.4%)	1,051	+164 (+18.5%)

(参考) 新契約高 ※	24,314	+8,232 (+51.2%)
-------------	--------	--------------------

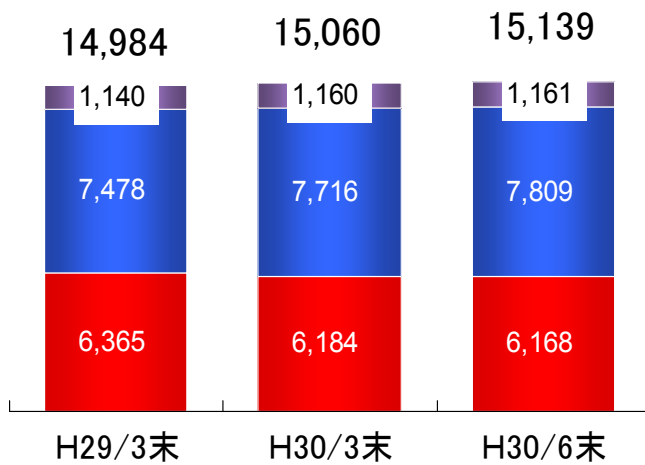
※ 大同生命の「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフ」と「介護定期保険」の介護保険金額を計上した場合の新契約高。

* 新契約には、転換による純増加を含んでおります。

保有契約の状況：個人保険・個人年金保険

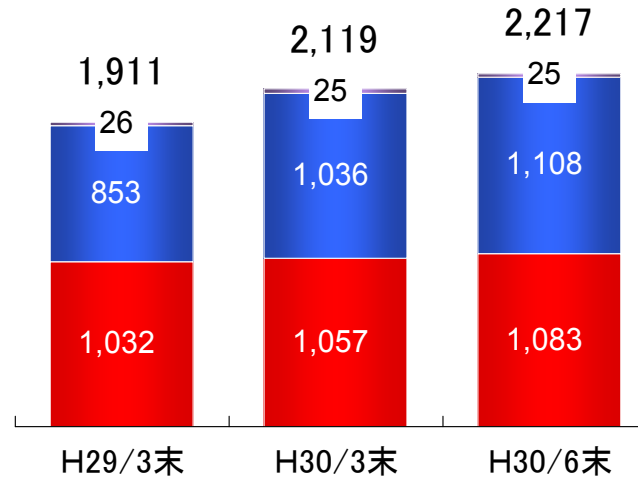
保有契約年換算保険料

(億円)



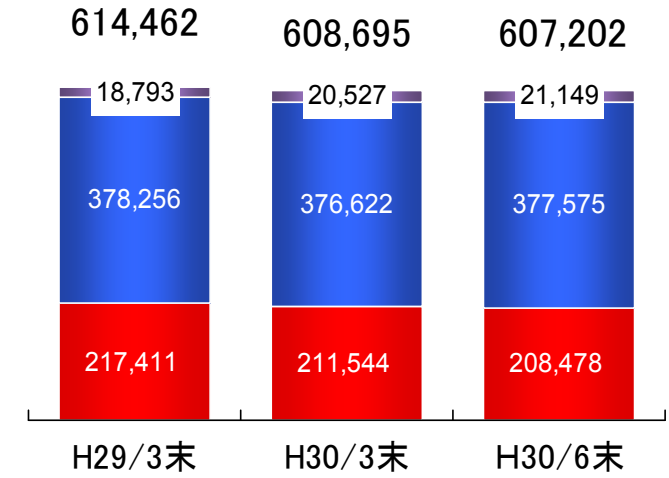
第三分野保有契約年換算保険料

(億円)



保有契約高

(億円)



■ 太陽生命 ■ 大同生命 ■ T&Dフィナンシャル生命

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H30/6末	前期末比	H30/6末	前期末比	H30/6末	前期末比	H30/6末	前期末比
保有契約年換算保険料	15,139	+78 (+0.5%)	6,168	△ 15 (△ 0.3%)	7,809	+93 (+1.2%)	1,161	+0 (+0.1%)
うち 第三分野	2,217	+97 (+4.6%)	1,083	+26 (+2.5%)	1,108	+71 (+6.9%)	25	△ 0 (△ 0.1%)
保有契約高	607,202	△ 1,492 (△ 0.2%)	208,478	△ 3,066 (△ 1.4%)	377,575	+952 (+0.3%)	21,149	+621 (+3.0%)
(参考) 保有契約高 ※	666,544	+6,437 (+1.0%)						

※ 大同生命の「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフ」と「介護定期保険」の介護保険金額を計上した場合の保有契約高。

連結損益

(単位: 億円)

	H30/3期 1Q	H31/3期 1Q	前年同期比	
経常収益	4,572	5,477	+904	(+19.8%)
うち保険料等収入	3,409	4,299	+889	(+26.1%)
うち資産運用収益	959	997	+37	(+3.9%)
うち利息及び配当金等収入	653	700	+47	(+7.2%)
うちその他経常収益	203	180	△ 22	(△ 11.2%)
経常費用	4,197	5,104	+907	(+21.6%)
うち保険金等支払金	3,084	3,222	+138	(+4.5%)
うち責任準備金等繰入額	190	949	+759	(+397.9%)
うち資産運用費用	229	263	+34	(+14.9%)
うちその他経常費用	170	160	△ 9	(△ 5.8%)
経常利益	375	372	△ 2	(△ 0.7%)
特別利益	0	0	+0	(-)
特別損失	36	38	+2	(+6.7%)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	65	59	△ 5	(△ 8.3%)
税金等調整前四半期純利益	274	274	+0	(+0.2%)
法人税等合計	79	79	△ 0	(△ 0.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	194	194	+0	(+0.2%)

主な要因

介護保障商品等の販売増加

外国証券利息配当金の増加等

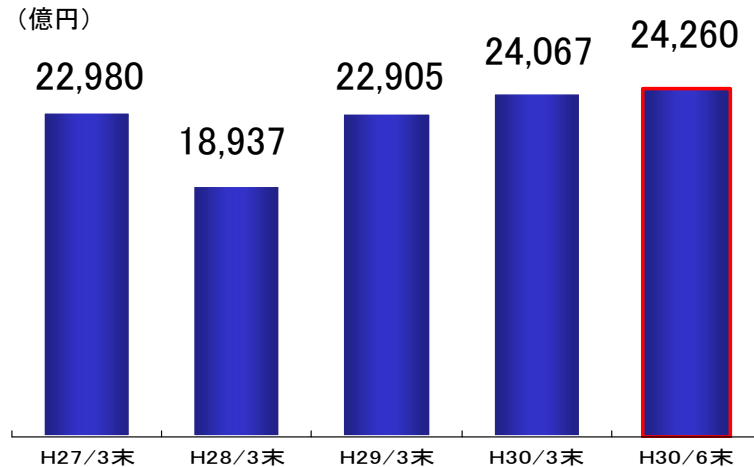
太陽生命・大同生命の販売増加による

ヘッジコスト上昇等による金融派生商品費用の増加

* 保険料等収入の3社合算は4,286億円(前年同期比+26.1%)です。

市場統合的エンベディッド・バリュー：MCEV[概算値]

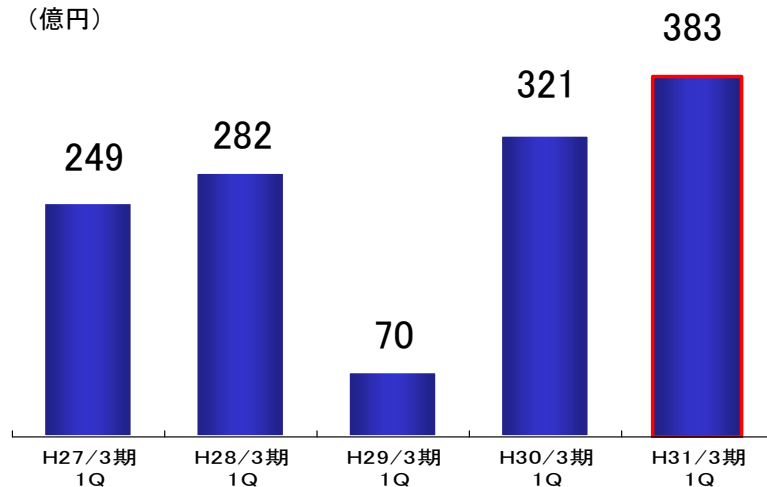
Group MCEV



■ MCEV (単位: 億円)

	H30/6末	前期末差
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	24,260	+193
太陽生命	8,349	+99
大同生命	14,760	+28
T&Dフィナンシャル生命	1,034	+8

新契約価値(グループ全体)



■ 新契約価値 (単位: 億円)

	H31/3期 1Q	前年同期差
T&D保険グループ全体 (3社合算)	383	+62
太陽生命	184	+80
大同生命	198	△ 6
T&Dフィナンシャル生命	0	△ 10

- * 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV(エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。
- * 新契約価値は、当年度中に販売した新契約(転換契約を含む)の価値を表したものです。
- * Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(2兆3,980億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(280億円)」の合計額です。
- * 四半期の数値は、一部簡易な計算前提等を用いて計算し、第三者の検証を受けていない概算値となります。

平成31年3月期 通期業績予想

■ T&Dホールディングス連結

平成30年5月15日公表分から変更ありません。

(単位:億円)

	平成30年3月期実績	平成31年3月期予想
経常収益	19,283	21,300 程度
経常利益	1,564	1,560 程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	775	790 程度

	平成30年3月期実績	平成31年3月期予想
1株当たり年間配当金	37.5円(うち中間配当17.5円)	40.0円(うち中間配当20.0円)

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成31年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位:億円)

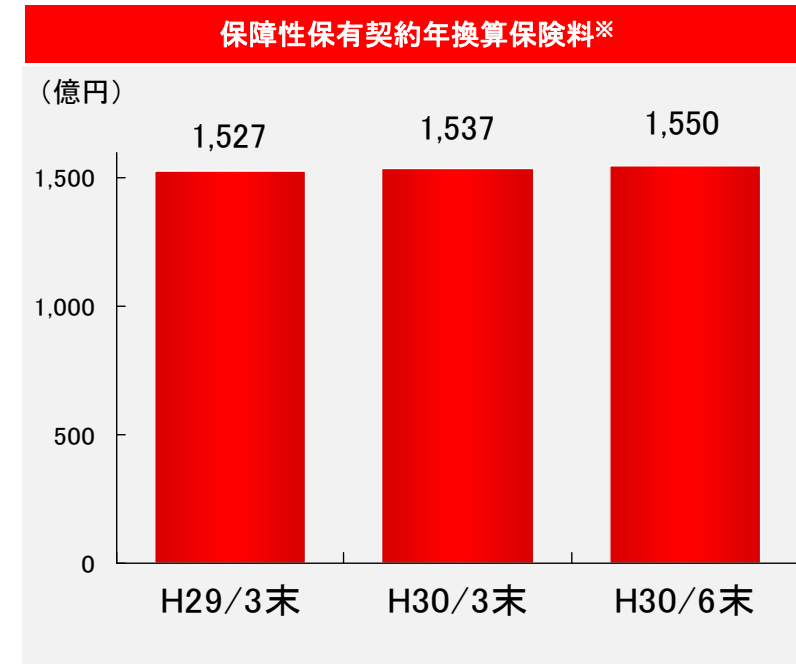
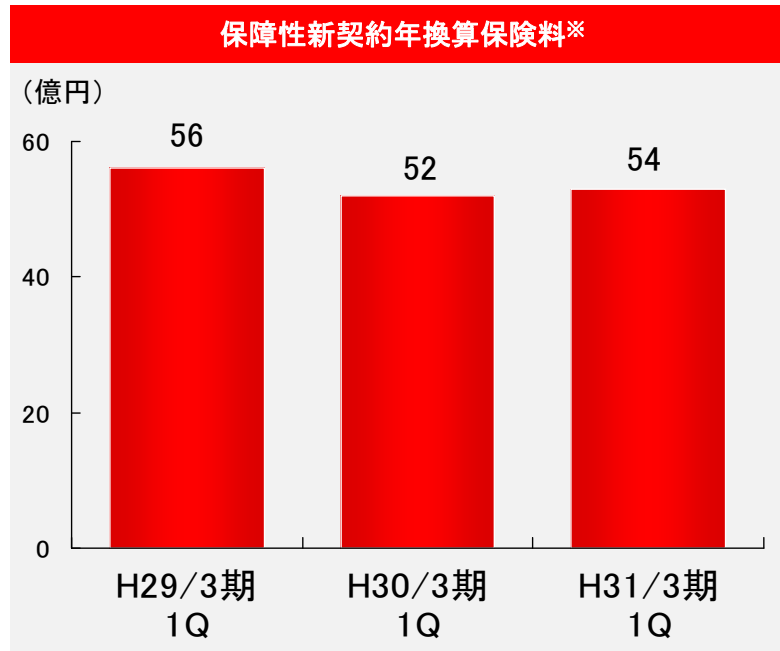
	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	7,600 程度	10,100 程度	3,400 程度
経常利益	630 程度	940 程度	△20 程度
当期純利益	300 程度	500 程度	△20 程度

* 連結と生命保険会社3社合計との差額は、3社以外の連結子会社ならびに連結会社相互間の調整等によるものです。

※ 実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

【参考】太陽生命の主要ポイントと状況

- 「ひまわり認知症治療保険」、「働けなくなったときの保険[I型]」の販売が好調。



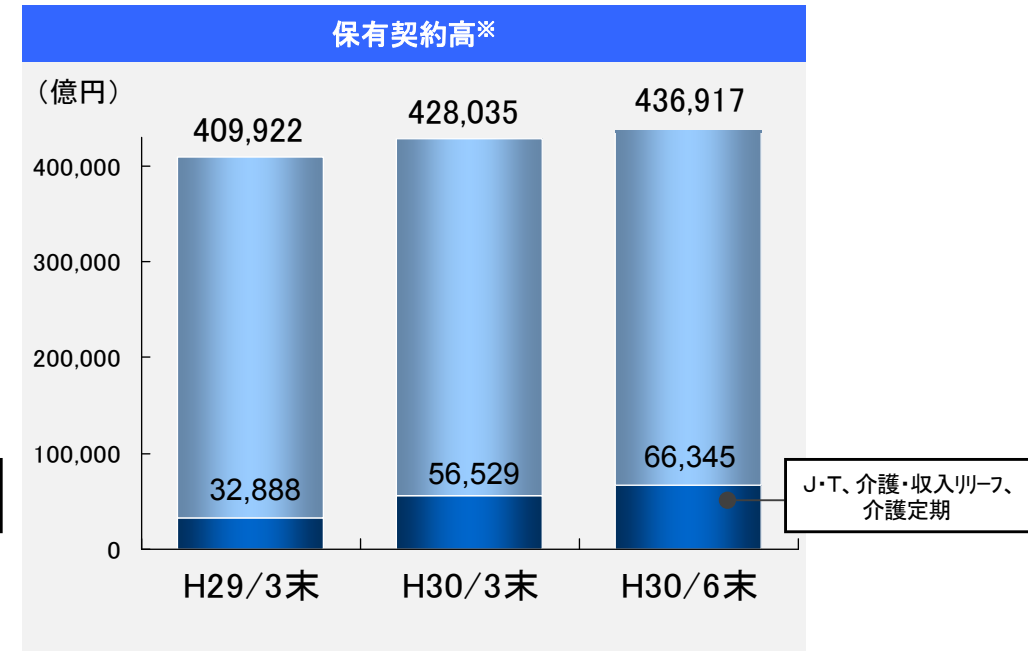
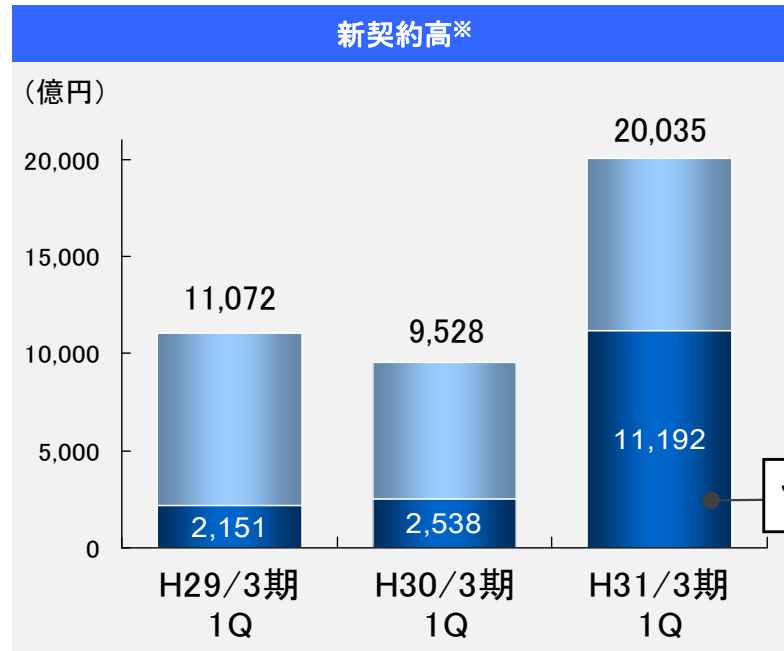
- 保障新契約年換算保険料※は54億円と、前年同期から4.2%の増加。
これは主に、堅調な販売実績の「ひまわり認知症治療保険」に加え、平成30年4月にリニューアルした「働けなくなったときの保険[I型]」の販売が好調だったことによる。
- 保障性保有契約年換算保険料※は1,550億円、前期末から0.8%の増加。

※ 保障新契約年換算保険料(太陽生命独自の指標)とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保険料の合計です。
同指標の伸展は「EVの伸展」に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標としています。

- ・ 平成28年3月に発売したシニアにニーズの高い「ひまわり認知症治療保険」の販売が好調。「ひまわり認知症治療保険」と「認知症治療保険」合計の累計販売件数は37万件を超過(平成30年6月末時点)。

【参考】大同生命の主要ポイントと状況

- 就業不能・介護保障商品（Jタイプ・収入リリーフ・介護定期保険）、死亡保障（Rタイプ）の販売が好調。



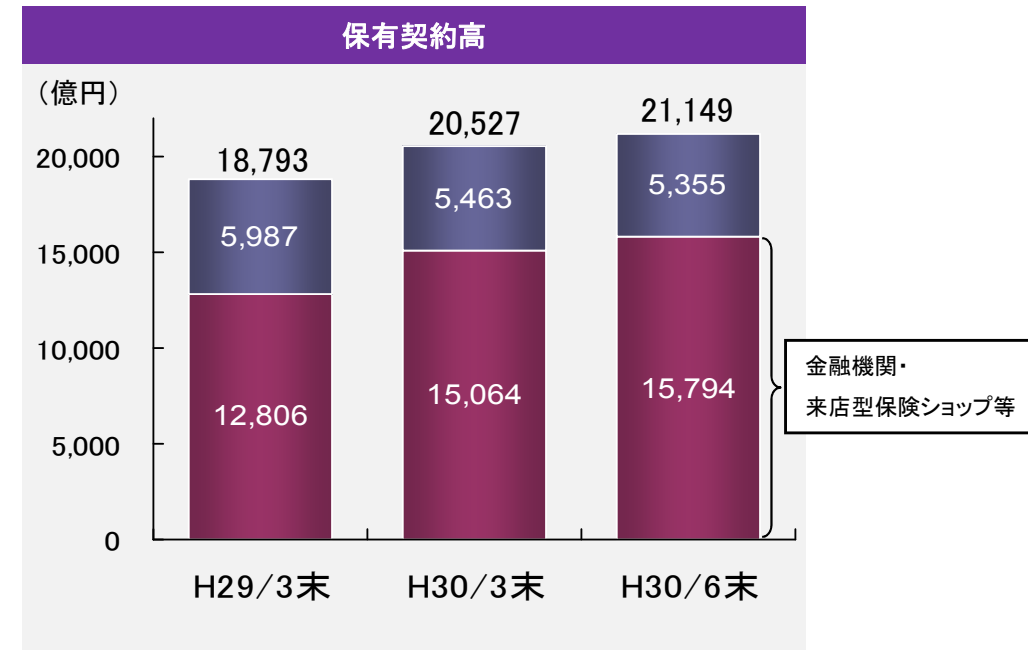
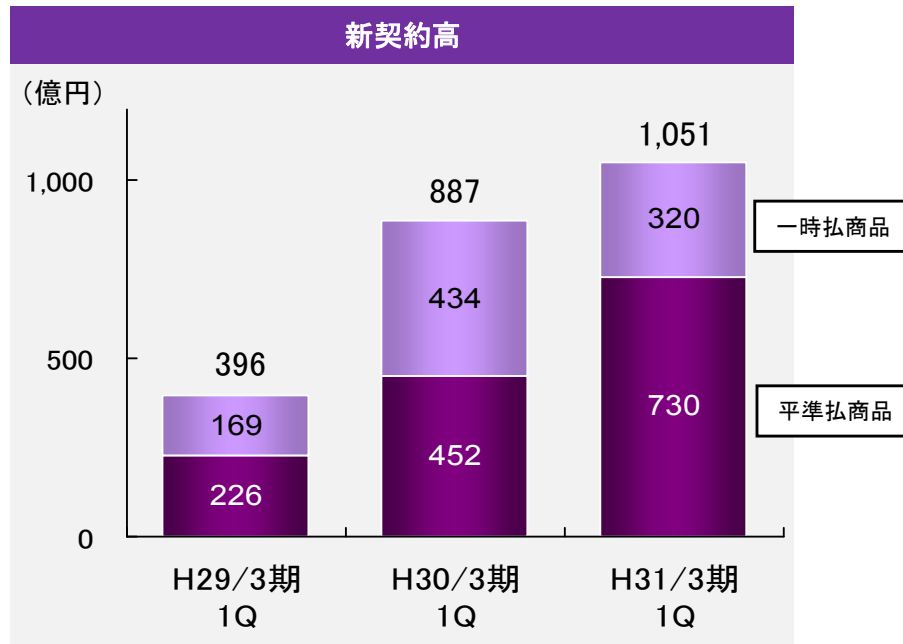
- 新契約高※は、平成30年4月料率改定によるRタイプ・収入リリーフの増産や、昨年10月に発売した介護定期保険の好調を主因に2兆円を突破。
- 保有契約高※は43兆6,917億円と、前期末から2.1%増加し、過去最高を更新。

※ 個人保険・個人年金保険の新契約高(1兆1,202億円)および保有契約高(37兆7,575億円)に、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフ」と「介護定期保険」の介護保険金額を計上した場合の新契約高・保有契約高。

- ・ 死亡保障に加え、就業不能保障の充実による“トータルな保障”の提案を推進。「介護」「相続・事業承継」など、「経営者個人」のニーズにお応えする商品・サービスを提供。

【参考】T&Dフィナンシャル生命の主要ポイントと状況

- 平準払商品「家計にやさしい収入保障」の販売が好調。



- 新契約高は1,051億円、平準払商品は前年同期の約1.6倍。
- 保有契約高は2兆1,149億円、平準払商品の販売好調により、前期末から3.0%の増加。

- ・ 平成30年4月に特定疾病に関する保障のさらなる充実を図った商品改定により、平準払商品「家計にやさしい収入保障」の販売が好調に推移し、同商品の新契約高は前年同期から61.5%の増加。
- ・ 引き続き「商品ラインアップの多様化」「代理店販売網の拡大」「お客さまサービスの向上」を推進していく。

参考データ(損益関係)

(単位:億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H31/3期 1Q	前年同期比	H31/3期 1Q	前年同期比	H31/3期 1Q	前年同期比	H31/3期 1Q	前年同期比
経常収益	5,477	+904 (+19.8%)	2,494	+412 (+19.8%)	2,498	+115 (+4.8%)	435	△ 148 (△ 25.4%)
うち保険料等収入	4,299	+889 (+26.1%)	1,982	+945 (+91.1%)	1,964	+58 (+3.1%)	340	△ 116 (△ 25.5%)
うち資産運用収益	997	+37 (+3.9%)	487	+14 (+3.1%)	456	+67 (+17.4%)	81	△ 23 (△ 22.4%)
うち利息及び配当金等収入	700	+47 (+7.2%)	352	+38 (+12.3%)	333	+6 (+2.1%)	20	+2 (+11.2%)
うちその他経常収益	180	△ 22 (△ 11.2%)	24	△ 547 (△ 95.7%)	77	△ 11 (△ 13.0%)	14	△ 8 (△ 36.0%)
経常費用	5,104	+907 (+21.6%)	2,318	+403 (+21.1%)	2,310	+124 (+5.7%)	429	△ 145 (△ 25.4%)
うち保険金等支払金	3,222	+138 (+4.5%)	1,694	+171 (+11.2%)	1,256	+5 (+0.5%)	265	△ 39 (△ 13.0%)
うち責任準備金等繰入額	949	+759 (+397.9%)	255	+255 (-)	575	+56 (+10.9%)	118	△ 92 (△ 44.0%)
うち資産運用費用	263	+34 (+14.9%)	98	△ 9 (△ 8.4%)	176	+76 (+77.2%)	10	△ 12 (△ 54.0%)
うちその他経常費用	160	△ 9 (△ 5.8%)	72	△ 11 (△ 13.3%)	47	△ 1 (△ 2.9%)	4	+0 (+3.5%)
経常利益	372	△ 2 (△ 0.7%)	175	+8 (+5.3%)	188	△ 9 (△ 5.0%)	6	△ 2 (△ 27.9%)
特別利益	0	+0 (-)	0	+0 (-)	-	△ 0 (-)	-	- (-)
特別損失	38	+2 (+6.7%)	9	+1 (+16.8%)	28	+0 (+2.5%)	1	+0 (+49.9%)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	59	△ 5 (△ 8.3%)	33	△ 4 (△ 10.8%)	25	△ 1 (△ 4.8%)	△ 0	+0 (-)
税金等調整前四半期純利益	274	+0 (+0.2%)	132	+11 (+9.8%)	134	△ 9 (△ 6.7%)	5	△ 2 (△ 35.9%)
法人税等合計	79	△ 0 (△ 0.4%)	37	+2 (+8.1%)	38	△ 2 (△ 6.7%)	1	△ 0 (△ 26.1%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	194	+0 (+0.2%)	95	+9 (+10.4%)	96	△ 6 (△ 6.7%)	3	△ 2 (△ 39.9%)

* 1 T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の合算とは必ずしも一致いたしません。

* 2 保険料等収入の3社合算は4,286億円(前年同期比+26.1%)です。

* 3 特別損失(38億円)のうち、37億円は価格変動準備金への繰入(太陽生命:8億円、大同生命:27億円、T&Dフィナンシャル生命:1億円)です。

* 4 税金等調整前四半期純利益の生命保険会社3社欄の数値は、税引前四半期純利益を記載しております。

* 5 親会社株主に帰属する四半期純利益の生命保険会社3社欄の数値は、四半期純利益を記載しております。

参考データ(その他の指標等)

■ 基礎利益

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H31/3期 1Q	前年同期比	H31/3期 1Q	前年同期比	H31/3期 1Q	前年同期比	H31/3期 1Q	前年同期比
基礎利益	365	+41 (+12.7%)	127	+28 (+29.0%)	241	+14 (+6.4%)	△ 3	△ 1 (-)

■ 有価証券等の差損益(一般勘定)

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H30/6末	前期末差	H30/6末	前期末差	H30/6末	前期末差	H30/6末	前期末差
有価証券の差損益	11,586	△ 95	5,387	△ 107	5,135	+7	1,063	+4
うち公社債	7,479	△ 23	3,667	+0	3,143	△ 19	669	△ 4
うち株式	3,170	△ 251	1,310	△ 140	1,859	△ 111	-	-
うち外国証券	48	+229	164	+48	△ 122	+181	6	△ 0
土地等の差損益	899	△ 2	439	△ 2	459	+0	-	-

* 1 有価証券の差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

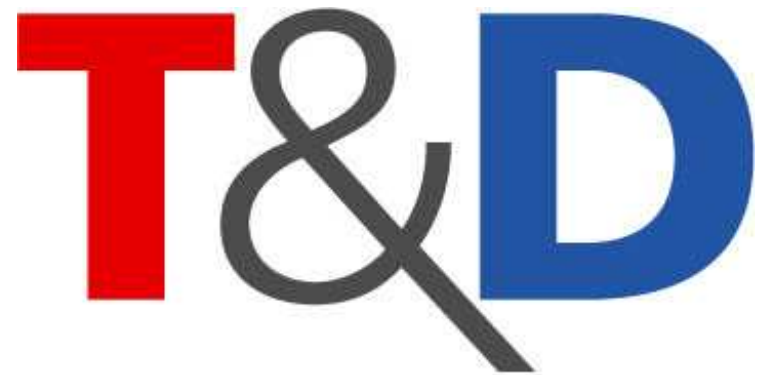
* 2 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

■ ソルベンシー・マージン比率と実質純資産

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H30/6末	前期末差	H30/6末	前期末差	H30/6末	前期末差	H30/6末	前期末差
ソルベンシー・マージン比率	1,038.7%	23.1ポイント低下	829.3%	5.8ポイント低下	1,178.2%	28.0ポイント低下	1,178.2%	80.1ポイント低下

(単位:億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H30/6末	前期末差	H30/6末	前期末差	H30/6末	前期末差	H30/6末	前期末差
実質純資産	26,987	△ 88	10,425	△ 135	14,270	△ 23	1,983	+9



T&D保険グループ

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報課 井本・勝呂	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課 松島	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課 平本	TEL 03-3272-6206
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課 高橋	TEL 03-6745-6808